

公表 事業所における自己評価結果

事業所名 放課後デイサービス あゆむ3

公表日 R7年 月 日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	3	・必要に応じて職員を増やして調整を行っている	・個別に支援が必要な利用児に合わせてた人員が必要。人員確保に務める。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	・視覚的構造化を行っている。 ・用途に合わせて部屋を分けている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	・毎日の清掃・アルコール消毒を徹底している。 ・子供たちの活動に合わせてスペースを分けて使用している。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	・パーティションを使って、必要時に提供できる環境を整えている。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	・業務を行う上で気になったり・問題が出てきた時には、その都度職員間で話し合いを行っている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		・保護者向けの評価結果でいただいた内容を改善につなげていく。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・業務を行う上で気になったり・問題が出てきた時には、その都度職員間で話し合いを行っている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0		・現在、第三者による外部評価は実施していない。必要性を検討したうえで、今後体制を整えていく。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	・職員全員で外部研修に積極的に参加している。	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0		・現在公表には至っていないが、公表に向けて取り組んでいく。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	・計画期間ごとにモニタリングを行い、利用児や保護者の意向を取り入れた支援計画を作成している。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	・子供たちの日々の様子を職員間で共有し、課題に応じた支援方法を検討している。	

適切な支援の提供	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	・計画については、職員全員で共有している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	・保護者の方にはファイル、職員間では支援記録を日々作成しており、常に状況確認が出来るようにしている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	・アセスメントを定期的に行ったうえで、子供本人や保護者のニーズに合わせた個別支援計画を作成している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	・職員のアイデアを積極的に取り入れるようにしている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	・固定化しすぎないように気を付ける反面、安心安全につながる活動の必要性も感じるため、その点に注意して決定している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	・子供の発達段階に応じて、個別・集団での課題を見つけ個別支援計画に反映している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	・朝ミーティング時に、支援内容や役割分担について確認し、前日の利用児の状況を職員全員が共有できるようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	・時差勤務を行っているため、職員間での振り返りや保護者からの連絡は次の日の朝ミーティングに必ず行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	・職員間で共有した情報も含め、利用児一人一人の記録を毎日作成し、モニタリング等に生かしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	・6か月に一度のモニタリングを実施し見直しを行っている。保護者に対しては面談を行い、家庭や学校での様子を聞き取り、情報共有している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0	・ガイドラインに沿った内容で支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	・活動以外の休み時間に、子供たちのやりたいことを聞いて活動したり、遊びを選択できるなど機会を設けている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	・関係機関会議には、相談支援専門員は必ず同席している。	
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	・希望があれば医療機関との連携を取ることが出来るように体制を整えている。		
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	・学校との連絡調整は、丁寧に行っている。		

関係機関や保護者との連携	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園・認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0	・就学前に利用していた保育所や幼稚園・認定こども園と連絡を取り、聞き取りをしたり見学に伺わせていただいている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	・現在事例がない。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	0		・必要であれば検討を行う。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	2	・児童館では、居合わせる子供がいれば遊ぶこともあるので、長期休業中に出向いている。	・今後検討をしていく。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0	・責任者が参加し、内容を各事業所に下ろしている。	・今後も可能な限り参加していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	・ファイルで日々の様子をお伝えしたり、送迎時にも活動の様子をお伝えし、情報共有を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	・家族等の参加できる研修会については、掲示や口頭で伝えている。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	・契約時に説明を行い、質問があればその場で答えている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	・契約時の面談で本人及び保護者のニーズを聞き、支援に反映している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	・面談時に支援内容について説明をし、同意を得たうえで作成・署名をお願いしている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	・必要に応じて面談・電話にて対応している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	5	0	・保護者研修会の際に、保護者同士の交流会を開催しているが、きょうだい同士での交流は実施できていない。	・父母の会・きょうだい同士の交流の機会を設けるに至ってはいいないが、今後検討していく必要はあると思う。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	・契約時に重要事項説明書に記載のある、苦情相談窓口について案内を行い、適切な対応が出来るよう努めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	・行事予定は、毎月発行している。	
43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	・廃棄書類については、シュレッダーを用いて廃棄処分を行っている。		

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	・視覚支援を用いて情報伝達や意思の疎通を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0	・ハロウィンやクリーン活動などで外に出向くことはあるが、地域住民の方を招待出来るまでには至っていない。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	・各マニュアルは策定し、定期的に研修を行っている。	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	・業務継続計画(BCP)を策定し、定期的に訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0	・てんかん発作を持っている利用児については、保護者から情報を提供していただき共有している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	・医師の指示書が出ている利用児はいらっしゃいません。保護者からの情報・指示に基づいて対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	・安全計画に基づいた訓練を行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	・ヒヤリハット事案が起きた際には、作成し再発防止策を職員間で話し合っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	・研修会を毎年行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	・現在、該当者はいませんが、今後必要時には、十分な説明をし、同意を得ることとする。	